

刊々日六十月二十

常警毎日新聞

定価 一紙五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

家庭といふもの

成瀬 無極

然し、私のやうな無精者は實を言ふとあまり他人の家庭生活を知らないし、また知らうともしないのだ。訪問嫌といふのではないが、だんだん自分の時間が無くなり、従つてまた他人の時間を奪ふことを憚るやうになるのだ。何よりも淋しいのは、一つ屋根の下に住みながら家族と食膳を共にしたり、打寛ろいで話し合ふ機会が年々少なくなつて行くことだ。時によるとかけ違つて丸一週間も或子供顔を見ないことさへある一年間に家族と話した時間を精密に計上してみたら、恐らく幾日にもならないであらう。平生は気がつかないが、病床にでも就くと染まその事が悔まれるこのまま死んだら妻子の中に宿る自分の姿は頗る影の薄いものであらう。深い因縁があつて妻となり子となつた者をまるで路傍の人のやうに無關心に眺めて来た自分は良人として父としての情を缺き義務を懈るものではないか。せめて休暇中だけは家族團欒して暮らさうさう思ひながらも私たちにとつ

て休暇は休暇でなく、仕終仕事に追はれてゐるので結局孤獨を求めなければならぬ。避暑するしても親は山へ子は海へと分れ分れになる。庭の一隅に飼つてある仔鶏がいつの間にか大きな鶏になつてゐるのを見て私は驚く。そんなにも長いこと私は庭へ下りたことがないので夜遅く歸つて家人よりも先きに出迎る白犬の顔を撫でてつくづくとその顔を眺めるとき、何となく物悲しい感じに襲はれる。この家で生れて、眼が明かないうちから見慣れてゐる筈の犬ではあるが、かうし

【朝】味噌汁——さつまいも 小付 炒り煮干魚
 【晝】かぶと人蔘 落花生あへ
 【晩】けんちん汁——豆腐 こんにやく 里芋 大根 人蔘

て親しくその頭に手を觸れるのは初めてやうな気がする。あんなにも小さかつたのが今では末の男の子よりも大きくなつてゐる犬の方でもまたちつとして主人の愛撫に身を任せながら慇懃さうな黒目で私の顔を見つめてゐる。かうした夜で

でもなければ人間と動物とが黙々と語り合ふ機会はないのだ。出来るだけ生活様式を簡素にして無駄な時間を省き家族の精神的結合をより緊密にしたいものだ。家出をするとき「人形の家」のノラは良人に向つてかう言つたのだつた——

「あなた、かうして向き向つて坐つてゐるのが不思議なやうな氣はなさいません。かもう御一緒になりましたから八年たちましたね。それに二人であつた私とで夫と妻とで、真面目なお話をいたすのは、これが初めてでございます。あなたはそれを不思議とお思ひなさいませんか？」

看護婦急派 求めに應じます

平町南町
平看護婦會
 電話三〇七

安齊外科醫院
 平町・田町
 電話四七五番

正確な眼鏡は 根本時計店へ

平町二丁目
根本時計店
 ▲最新型眼鏡各種レンズ 豊富に取揃へてあります
 (金銀高價買入)

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
 電話一〇番

御披露

此程店舗擴張の爲め平町停車場通り(元ダイヤ堂跡)甲陽館向ひに移轉致しました何卒御愛顧御用命の程御願ひ致します

時報堂時計店

忘年御宴會

毎度格別の御最負いたゞき難有く御禮申し上げます
 愈々年末新年の御宴會季節と成りましたので忘年會新年宴會の御下命賜り度 團體様には徳用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申し上げます

松印	3.50	御會席七品付(外果物御飯香物) 藥妓花代、御酒、入浴料 共一式
竹印	3.00	御會席六品付(外果物御飯香物) 藥妓花代、御酒、入浴料 共一式
梅印	2.50	御會席五品付(外果物御飯香物) 藥妓花代、御酒、入浴料 共一式

但十人様以上ノコト 藥妓へ五人様毎ニ一人二時間(松印ニ限リ半玉十人様ニ一人付) 御酒ハ御一人銘酒二本ツ、ノコト
 ◇御申込は時節柄なるべく至急下記へ

お問合せは
 電話(小名濱) 103番
 通話料は弊館にて負擔いたします

小瀧鑛泉 瀧の湯旅館
 電 103 番 割烹部

季節料理 よせなべ

銭 03 その他……

かきなべ	……三〇	煮込みなべ	……三五
はもなべ	……同	豚なべ	……同
いかなべ	……同	鳥なべ	……同
ねぎまなべ	……同	あび天ふら	……三〇
あんなべ	……同	あび天どん	……三五
ちりなべ	……三〇	あびふらい	……三〇
あなごりなべ	……三〇	かきふらい	……二〇
たらちりなべ	……同	あんなべ	……二〇
酢のもの	……二〇	あんなべ	……二〇

等々始めました何卒御試下さい

平二警察署裏通り 魚清食堂
 電話六三三

御祝儀、御法事の仕出し 廉價に御引受け致します

故田邊氏の 建碑除幕式

遺子美那子さんの學費に 殘餘の金は

元本縣知事川淵治馬氏や會津出身警視廳高野刑事部長等が發起の許に石城郡錦村鷺内地内に建立された錦村出身元警視廳警務課長故田邊保皓氏の建碑除幕式は昨十五日午前十時から川淵氏外金成上院議員、正木磐城高等女學校長、山口同教諭、金成錦村長、今野勿來町助役等關係者參列の上舉

揉める製氷問題

第四次會見も決裂

結局松本氏辭職か

既報江名漁業組合製氷部對平製氷會社の紛争は縣下製氷會社聯絡統制團體も介入して益々問題はもつれた即ち前日八日の第三次會見は加澤組合長不在で延期となり此程江名漁業組合樓上で同組合長加澤氏と平製氷代表專務松本一郎氏が會見、統制團體側會の上交渉したが兩者一步も譲らず結局平製氷が提案した値上と統制加入の件は一蹴され物別れとなつた、この間兩代表者間に個人的な感情問題点在し居るもの、如く兩者いづれか辭職するにせざるは圓滿解決に至らざる可

年末繁忙期の 遞信局長

平局事務視察

仙臺遞信局長三宅杭一氏は本月三十日鑑査係長丹治金三郎氏と共に來郡平郵便局に於いて年賀郵便事務の視察を行ふ

東都進出

小名濱加工組合では澤庵漬の加工組合の新しい計畫

けの大量移出を計畫し今回主任武菊治氏指導の許に組合員十七名平均九百貫宛計一萬五千貫の大根を二十日から組合出動して漬はじめ「小名濱澤庵」と名稱し昭和和人絹と東京青物市場へ移出する計畫で漬け方を改良してをり相當名譽を博さう

入山採炭の躍進

「川平炭坑」復活

坑夫二百名を募集

炭界活況の大波に乗つて入山炭礦では昭和六年に廢坑とした内郷村大字白水字川平の「川平炭坑」を復活する事となり去る十四日起工事を舉げた、目下地上設備を急いでをり來春二月から月産五十噸を目指して出炭するがこの復活で採炭夫を新に二百名募集する

江名俵米品評

江名町俵米品評會は本十六日、三日間行はれる入賞授與

訓盲院に 國庫補助

平町警城訓盲院は昭和十一年度國庫補助として文部省から一般經費補助四百十四圓設備補助二百四十圓交付されることになつた

教員査閲

第五區擔當青年學校査閲官福島縣隊區司令部付黒石中佐は今十六日午後來平の上平町青年學校の帳簿査閲を行ひ明十七日平第一小學校同校々庭で平、飯野兩青年學校の教練査閲を行ふ

白熱戦を演じた 教員籠球大會

平第二校決戦に敗る

體協石郡支部主催郡下小學教員第三回籠球大會は昨十五日午前九時より舉行熱戦を展開した戦績左の如く決勝は昨年優勝平第二チームと草野チームの戦となり負傷者續出の平第二チーム

草野52—37湯本
湯本32—23平第一
草野70—29平第一
草野33—17平第二
有望ですナ
給料百圓
關東軍で募集
平職業紹介所に本日關東軍より臨時技術雇員十八名の求人申込あつたが初任給百圓より百卅圓、その他勤務手當が付くとあるか資格は工兵伍長出身者にして土木工事現場経験あり甲種工業卒以上の學力、在郷軍人にして官公署の土木技手の經歷ある者その他となつて居り申込希望者は一月四日まで同紹介所に履歷書二通戸籍謄本、身分証明書、診斷書、教練檢定合格証明書を添付して申込まれたいと

1936年 新年エハガキ賣出し

ミツキーの可愛い、友情こもる、スマートな、格安な、各種澤山入荷しました。
◎年賀状はお早く◎
クリスマスプレゼント用品とお正月のお楽しみ用品陳列
平驛前 いづみや玩具店
福島縣平町二丁目

西村屋藥舖

藥劑師 鈴木堅助
電話 三番
振替(東京六・二九九 仙臺一・二〇一)

久金屋豆腐店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

鯉魚節

御値段ハ御相談ノ上如何程にても御自由です。
日華生命保險株式會社代理店
平町四丁目
電話(鮮魚部)四〇七番

穴戸屋商店

電話(鮮魚部)四〇七番

醜 親子争ひ 判事の裁きで 圓滿解決

龍田村の準禁治産問題

實父を相手どり、平區へ準禁治産宣告の訴訟を提起した申立人は、双葉郡龍田村大字下繁岡字林東四八鈴木憲三、相人同馨に係る第三回續行辯論は去る十四日午前十時から平區で開かれた。袖ガスリ姿の若年の息子と老ひた實父が對立し、今は現在の儘にしてをくと残りの財産も忽ち蕩盡一家が路頭に迷はねばならぬとの言分に實父は不動産賣却した金の使途は遊興したものでなく家族中の永患ひによる費用とく

勝手に購入して 怪しからん

四倉消防組自動車唧筒 部員三十餘名辭表提出

四倉町消防組自動隊部長小頭長谷川勇太郎氏外幹部一同は十六日細頭金成岩吉氏宛辭職願を提出した。理由は過般同町で豫算五千圓を投じ購入する事になつた自動車ポンプの購入決定に際し事實其の任にあたる自動車隊の意見を容れず委員が勝手に決定購入したといふにありこれでは我々部員が町當局の信用なきは勿論單

十五日まで全町に亘つて爲されたが現金三百六十八圓十錢で第一日の西部方面の九十九圓廿五錢が最高で三日目の八十三圓六十四錢は東部方面に爲されたが比較的勢働階級多き場所柄少なかつたものと思はれる向米等の寄附志願者もあり直に歳末救済活動に入るこゝになつた

平町で 戦死者迎送

戦死者迎送

平町は今般滿洲で戦死せる相馬郡石神村出身騎兵上等兵吉田壽男君の遺骨が十八日午後四時四十三分の列車

驛ボーナスデー

但し前年より一割減

官廳街のボーナス王国と見られる平驛は今十六日水戸運輸事務所員が持ち込んだボーナス袋四萬五千圓を八百餘名の係會計に分けられ午後から恵比須額驛員に手交されたが所員四百餘名の大半である平機關庫が約半額の二萬三千圓、驛關係が一萬圓、保線區の七千六百圓、檢車係、車掌係の各二千圓、治療所の四百圓等で一人當り判任官一ヶ月四分、雇が一ヶ月、傭人八分の割りで驛員の懐ろを暖めたが昨年よりは二割方配當率が悪るいと

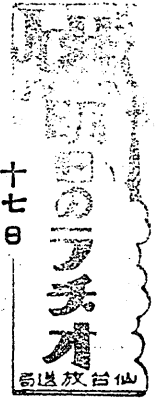
圖書展覽

第三校人賞兒

平第三小學校生徒の御降誕記念圖書展覽會は昨十五日の兩日同校講堂に開かれたが入賞兒童左の如くである

漁夫變死

小名濱町 宇上町居住朝鮮生れ漁夫金正植(三)は去る十三日午後十時頃小名濱港内艇泊中の



今日明日も北西の風晴曇半す

明日の部
前七〇一基礎ドイツ語
講座 武内大造
前七三〇朝の修養 易
前九〇〇衛生メモ
前九〇一〇幼兒の時間
前九〇二〇お結びコロリン内
山憲堂
前九〇三〇婦人の時間
「年賀状の認め方」高信峽
水
後〇〇五テロ獨奏と
マンドリン四重奏 伊達
三郎 富田艶子他
後二〇〇小學生の時間
後三〇〇國語國史劇一千早
を希望する由

明日の部
城「大阪國史劇研究會
後二、四〇小學生の時間
高一 唱歌君ヶ代合唱團
後五、三五 講演「郷土財
穀口ついで」堀口功
後六、〇〇子供の時間
「物の始まり船」西村真次
後六、二五 青年の時間
「ワシントン」の青年時代
今井登志喜
後七、三〇講演「伊エ紛
争和協試案就て」米田實
聲合唱團
後八、〇〇合唱 福島混
新屋敷段富十松加賀太夫
後八、五〇ラヂオドラマ
「ある夜御橋公」他

平町 新年祝賀

名刺交換を開催
平町昭和十一年新年祝賀並に名刺交換會は十一月一月元且聚樂館に開催されること決定會費は五十錢で食券付きとあるが一般の参加を希望する由

暴れトラツク

小名濱町中町自動車業金田弘(三)は昨十五日午前九時頃トラツクを運轉茨城縣茨城郡稻荷村六反田地先大洗縣道を疾走中ハンドルに故障を生じ急停車せんとしたが及ばず傍らを通行中の同郡磯濱町壽町二丁目魚行商佐藤龜太郎(五)同郡稻荷村農夫大高正行(三)を刎ね飛ばし佐藤は肩と肋骨二枚を大高は腰部にそれ、重傷を負つた

ゴキ箱で凍死

歳末平街の異聞

昨十五日午前五時卅分頃平町田町世界館前塵芥箱の中に右手をかけた一見乞食風の推定年齢五十歳位の男の變死體あるを通行人が發見、署に届け出たが檢視の結果空腹で凍死したものと判明身元不明

産組映畫會

石城産業組合部會は組合事業宣傳

井坂醫院

平町 田町 電話五五九番

- 回 人を求める方
- △女中 廿二才迄 月給十圓
- △トラツク助手 廿才前後 月給十圓
- △運送店員 卅才迄 日給七十錢
- △料亭番頭 卅才迄 給料面談
- △出前持 廿才前後 月給六圓
- 回 職を求める方
- △集金人 廿四歳 中三修
- △料理人 卅五歳 尋卒
- △商店員 廿四歳 高卒
- △鐵工 十八歳 尋卒
- △同 十七歳 高卒

解る瓦解の謎

(禁上級)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)



六 舶來の戀煩ひ

新門の辰五郎は大勢を押し分けて櫻屋の前に来て、刀を持つてそれに立つてゐるお花に向ひ

辰「お花坊、威勢が宜いなお前を女にしておくはおしいものだ、さア俺が来た上は客人に怪俄をさせねえ」
花「親分、わたしの家へ来たお客様に怪俄があつてはのれんにさばりますから、お客の代りにこの人達を相手にしてこゝで死ぬと決心しましたが、親分がお出でになつた上はあなたにお任せ申します」
辰「俺にまかしてくんねえ……」
といひつゝヒュースケンの護衛の者

辰「わつしはこの淺草寺の境内の取りしまりをして居ります、辰五郎と申す者でございませう」
○「イヤ、かねてその名は承はり居つた、新門の親分か、吾々が付き添ひながらかゝる騒動を惹き起したはまことに面目ないことであるが、何に致せ相手は大勢とて吾々の手にはこれをしづめることがならぬ、ま

まアそれにしてはお花と申す者が美しい刺青を見せて群がる人々を睨み返したところは實に繪に描いたやう



な光景であつた、女にしては宜い度胸だな」
辰「あいつは男のやうな氣性でございますから、かういふ時の役には立ちます、してお前さんがたについておいでなすつた異人は何うしましたえ」
○「この茶屋に入つてゐる

そこで辰五郎が来て見るとヒュースケンは床机の下から這ひ出したが、その形は甚だよろしくない。
辰「旦那、怪俄はございませんか」
ヒュース「あぶない〜」
といつて目を光らした。その時通譯の高木周藏がこの茶店の女と辰五郎が群衆を退けたといふことを告げると、ヒュースケン喜んでポケットから金貨をつかみ

出し
ヒュース「お花さん、これをあなたにやる」
といつて手に握らした。
花「何ですぬ旦那、こんなものをくだすつて、あらまアこれはまるいお金だよ、いやだね、人の首なぞがついてゐて獄門のお金かね」
いふと高木周藏が

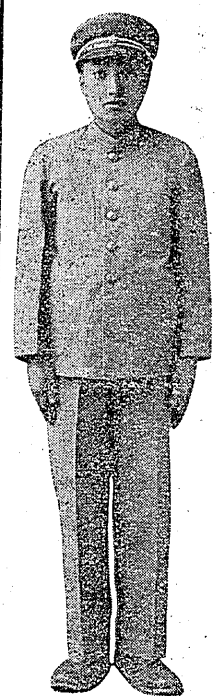
周「それはアメリカの通用金で、そのはアメリカの王様のお姿である」
花「おやまあさう、こんなものがつかへるかね」
周「二十兩には通用する」
花「それではお貰ひ申しておいて乞食に施してやりませう」
といつた、高木もこれを聞いてびつくりした、ヒュースケンはお花と握手してそれから戻ることになつたが、また大勢押して来ては大事と辰五郎とお花が先に立つて人を拂ひ雷門まで来た馬丁はこゝに待つてゐます馬の口を取つたお花が
花「さア旦那早くお召なさせ」
ヒュース「ありがたう」
といつたがヒラツと馬に跨がりグイと手綱をつめて馬の頭を立て直した。同時にお花は手を放す、ヒュースケンは馬上にてお花をデツと見てゐたがハンケチを出して頬にたれるよだれを拭つたさうです。これはお花の美しさに見惚れたためまづこの日はヒュースケンも無事に麻布善福寺の旅館に歸つたが、これ以來櫻屋のお花の名が一層高くなつて店は益々繁昌する、こちらにはヒュースケン、善福寺に居つたがお花の美しいのと勇ましき態度にあこがれあれ程の美人の手もとに置いたならば事あつた時に役に立つであらうとかう思ふとお花がしたはしくなり遂ひには深く想ひつめてお花の姿が目先にちらつく、ヨ

「ロツバ人の戀わづらひはめづらしい、これを舶來の戀わづらひといふ、しかしそこは文明人の事とて心に思ふとその事をすぐに打ち明ける、通譯の高木周藏を呼んで
ヒュース「高木さん、あの お花を手もとへ置くことはなりませんか、金は澤山出

しますぞ、おなた周旋して下さい、私お花にはれました」
といつた。
周「それはとんだものが御意に入りましたな、女は何と申すか、それは判りませんか、聞いて見ませう」
ヒュース「この事がまともると日米同名、日本のため

には大いなる利益ですぞ」と云つたが周藏は大きにさうでございませんと苦笑ひをした、それから淺草へ出て来て仲店の萬梅にゆきお花を呼ぶことにした、萬梅はその當時有名な料理屋です。

冬の通學服賣出し



店服洋やかふ

中學生用 六号 四〇〇〇
國防色 七号 四二〇〇
黒小倉服 特A六号 三三〇〇ヨリ
別注文 國防色 五五〇〇均一
特A黒小倉 六二〇〇均一

特約販賣店募集

助川町 中村町 植田町 原ノ町
其他各地

一町一店(絶対尊守)

右開店御希望の方へ道具付にて最も有利に御相談いたします。

満洲パン

白土左行

一册の代金で御希望通りな五册の雑誌が自由に讀める川崎 回文庫 (申込次第規則書進呈) 電話六三〇番

木村病院 平町新川町十九 電話一六四番

満洲羊かん始めました。